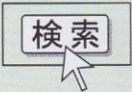




つくも山 第199号
 令和2年12月1日
 士別神社社務所
 〒095-0008
 北海道士別市九十九山
 ☎23-2243・FAX22-2553

士別神社ホームページ



紀元祭／建国記念の日、2月11日午前11時より
 人形供養祭／3月3日午後3時より社務所前広場で。
 不要の人形等、1月20日から当日まで受入れ。社務所へ
 お持ち下さい。



▲高橋哲見氏揮毫奉納絵馬

- ◆31日午後11時30分～1日午前1時30分
- ◆車両通行禁止 市道士別神社通の東8北1か
 東8の1まで290m、市道東広通東8北1か
 東8の1まで260mと東7の1の130m
- ◆市道桜丘1丁目通の東8の2の120m
- ◆午前1時30分より夕方まで一方通行で境
 に入れます

初もうで

元旦午前0時、太鼓を打ちます。拜殿のとり
 らは夕方5時まで開いております。
 ▼おみくじ、ハマ矢、絵馬、熊手、各種お守り
 等は元旦授与所又は社務所へ
 ▼元旦のお祓い、ご祈禱も同様受付奉仕
 つくも太鼓／午前0時より社務所前野外舞台で
 日本詩吟学院岳風会初吟詠／昼11時より拜殿奉納
 弓道初射会／午後1時より境内弓道場で

歳旦祭 元旦午前10時より齋行
 おさそい合わせご参拝ください。
 下士別二之宮八幡神社では午前11時より
 空手道武徳会初けいこ／9日午前11時30分より

洗心水花

コロナ禍で手水舎に柄杓が置かれず、自然石の手水石に季節の花を浮かべ、
 龍の口から常時水を流し、流水手水に。秋は菊花、冬期閉鎖中。
 =北海道新聞掲載写真= 北海道新聞社提供／佐藤三枝子氏撮影





▲初めて東1条通りを通るご神幸行列
▼奉迎の保育所児たち



▼後日祭うぶこ祭
右端は奏楽、
天理教教会の
方々



士別最古の例大祭は7月14
15日、新型コロナという思わ
ぬ災禍予防を第一に、内ヶ島
英一委員長はじめ専心ご奉仕
全国的に少人数で祭儀のみの
神社が多い中、自動車渡御で

**晴天に恵まれた122回士別まつり
84回ご神幸式、密を避け奉迎の人の波**

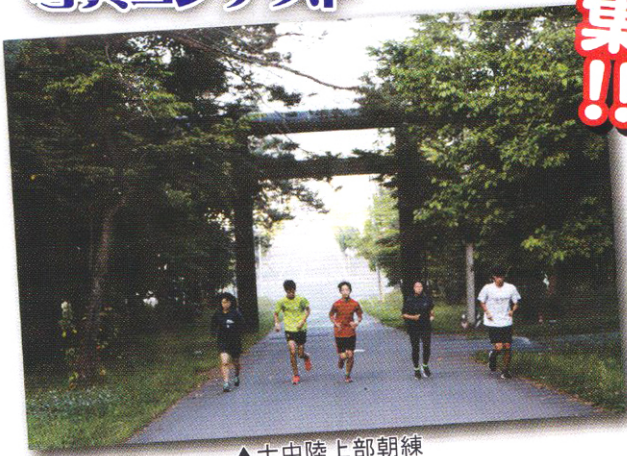
学田西士別を含む20ヶ所で駐
興祭、広報車、つくも太鼓を
先頭に車両14台を列ね無事斎
行されました。

奉納行事や子供みこし、露
店も中止、市民は密を避けつ
つ御神幸式を奉迎されました。
市内でも花火大会やハーフマ
ラン等のイベントも無く、
正に、心意気伝える活力神社
祭“のテーマ通り、士別まつ
りが唯一の催しとなりました。



**九十九山の四季
写真コンテスト**

募集!!



▲士中陸上部朝練

つくも山 紙令200号記念

社報つくも山は昭和33年創刊以来、次号で紙令2百号
を迎えます。記念に『九十九山の四季』の写真コンテスト
を募集します。折にふれて撮影ご応募ください。
テーマ/九十九山の四季の風物、人との関わり、祭典、
諸行事、スナップ等一切を含め自由。
作品/カラーA4・四つ切り判。裏面に題名・氏名・
住所・撮影年月日をご記入願います。
届先/士別神社々務所Ⅱ士別市東8北1 九十九山
切/令和4年3月31日迄
発表/令和4年6月発行つくも山。併せて作品展開催。
作品は神社に奉納、一部は刊行物に使用。
賞/金賞・銀賞・銅賞・入選・佳作など応募数によ
り決定。全員に参加賞をさし上げます。



地震の士別市指定避難場所に

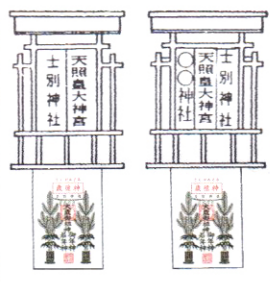
◆内ヶ島英一・佐智子夫妻は祭典委員長奉仕記念に、南参道用大幟一对、幣帛麻を奉献されました。
 ◆工藤照和氏は総代退任記念篤志ご奉納。江別市名越隆雄氏・屯田名越源五郎中隊長のご子孫は来社参拝、篤志ご奉納されました。
 ◆京都市相原満、大阪府高柳章晴美夫妻、札幌市斎藤和子氏は本年も篤志を送付奉献されました。
 ◆例祭に際し株式会社田中工業田中勝則社長はじめ50人は7月5日宮下自治会20人は12日、本年も草取清掃ご奉仕。例祭に金井恵美子



氏はじめ多数の奉献奉仕を頂いた事と併せ深謝申し上げます。
 ◆東京都枝元寿郎はるな夫妻は、本殿雪囲い用として青竹12本を送付奉献されました。

新しいおふだをまつってお正月を

もの皆あらたまる新年を迎える前に、しめなわを新しくし、神棚をお掃除して、新しいおふだをお祀りしましょう。神棚には、天照皇大神宮と士別神社の2体を合せおまつりするの正しい祀り方です。



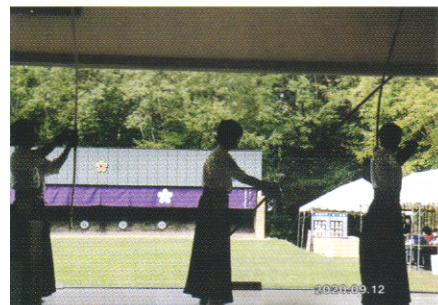
生活や職業上の神様、各神社の御神札も合せてお祀りしてよろしいです。

歳徳様(としがみさま)は正月中、神棚や床間など清浄



な所に張ってお祀りします。古いおふだがいっぱいになりましたら神社へお持ち下さればお納めいたします。喪のあつた場合も、新しいおふだはお受けし、鏡もちなどもお供えます。家庭や職場に中心となる神棚を祀るのは民族の美風です。新家庭や未だお祀りしていない方もぜひお祀りしましょう。神仏を拝み良い手本を示すことで、子供も見習って心豊かに生長します。お正月は家庭教育の大事な機会としても受継がれてきたのです。

高体連弓道大会



◆八を八、11でハリ針と読み8月11日総代会小林一男会長と松下総務、藤森洋子・赤羽根寿子の各氏と敬神婦人会員が参列し昭和44年建立以来52回目の針供養祭を斎行古い針や折れ針を豆腐に休め針塚奥深く納めました。
 ◆令和2年度高体連支部弓道新人戦は今年も士別神社弓道場で9月12日開催、男子は士別翔雲高・女子は天塩高校が団体戦で優勝。
 ◆第42回太幹杯弓道大会は士別神社と士別弓道会の主催で、本年は市内限定縮小して9月13日士別神社弓道場で開催されました。
 ◆少年男子①佐々木拓海②板東美杜③田中柊舞④各士別翔雲高校
 ◆少年女子①阿部真莉愛②相澤華奈③小島和奈④各士別翔雲高校
 ◆士別弓道会①梅田誠②梅田淳③山田清明 (総参加者45人)



◆九十九山を守る会は10月18日、川副春夫会長はじめ会員24人参加雪囲い鼠防除作業を奉仕、植樹木成長に万全を期しました。
 ◆士別南中学1年生は事業所訪問学習。当社にも10月19日、境内社殿と弓道場の2班13人の生徒が課題を持って訪れました。
 ◆紅葉の9月から11月に七五三まつりを受付、可愛いお子さんで賑い、士別小学生のドングリ拾い、10月3日境内社日地神祭、11月23日勤労感謝の日新嘗祭、豊穰に感謝、師走に令和3年に向け、繩奉納会による大々繩掛替奉仕で、お正月です。来る辛丑年、コロナ禍を克服、更新の良い年を迎えたものです。

厄年の厄を祓ってお役目の良い年に...

厄はらい 心身安全 祈願祭

すがすがしい新春の神前で健康と繁栄を祈誓しましょう

日 時 1月3日(日) 午前10時より1回

1月10日(日) 午前10時より1回

1月11日(祝) 午前10時より1回

※社務所で受付。時刻20分前迄においで下さい。

祈願料 四、〇〇〇円以上のお志

当日社務所受付へ。祈願の後、厄除神符・お守り・

ご神饌・厄除け箸・縁起ふきん等を授与します。

※他の日時希望の方は、電話で事前に社務所に予約を!!(不在の場合あり)。

性別	数え年	生れ年エト	該当
女	18	平成16年	さる 前厄
	19	平成15年	ひつじ 本厄
	20	平成14年	うま 後厄
男	24	平成10年	とら 前厄
	25	平成9年	うし 本厄
	26	平成8年	ね 後厄
女	32	平成2年	うま 前厄
	33	昭和64年・平成元年	み 本厄
	34	昭和63年	たつ 後厄
男女	37	昭和60年	うし 当り年
男	41	昭和56年	とり 前厄
	42	昭和55年	さる 本厄
	43	昭和54年	ひつじ 後厄
男	49	昭和48年	うし 当り年
	61	昭和36年	うし 還暦
	70	昭和27年	たつ 古稀
女	73	昭和24年	うし 当り年
	77	昭和20年	とり 喜寿
	80	昭和17年	うま 傘寿
共	85	昭和12年	うし 当り年
	88	昭和9年	いぬ 米寿
	90	昭和7年	さる 卒寿
	99	大正12年	る 白寿

令和3辛丑年 厄年・祝年 数え年||生れた年を1才として数える

新年家祓・会社工場安全祈願始業祭・交通安全車両入魂式・機械修祓・地鎮・上棟祭・引越祓・創業開店繁栄祈願・合格祈願・他各種祭事は早めにご依頼を
■神事諸祭事信仰生活上の種々の相談は電話またはFAXでお気軽にご用

士別神社

TEL 23-22433
FAX 22-25533

節分祭 福まき

2月3日 4時

1月10日(日)
午後0時30分より



はたちの旅立ち 成人祭

はればれと
ご参拝を!!

□当日時間までに社務所へ(会費等不要)
□新成人の皆様の前途を祝い、ご活躍を祈願してお守り・お赤飯他をさしあげます。

士別神社

松納祭||どんどやき

1月15日(金) 午前9時火入式

※12日から受入れます。15・16日の二日間です。

□社務所前で、門松やしめ飾り、古神札などをお持ちの上お焚き上げ下さい(プラスチック類は燃やしません)

夜間の持ち込みは
できません!
朝9時より
夕方4時で終了

2月3日(水)午後3時30分からの節分祭に続き、4時からカミシモ着用、年男、年女により賑やかに福まき、景品入りの福豆、福餅、福飴など沢山まきます。

奉仕年男年女の受付、厄除け招福、諸願成就

1月30日迄、神社総代又は社務所へお申し込み下さい。

令和3年の当り年、丑年生まれ、厄年歳祝、特別奉仕ほか、どなた様でもご奉仕を!!

参加初穂料 金一万円(カミシモ含)

神事奉仕、直会、福マス、丑年土鈴、絵馬、福豆、福餅ほか授与。

厄祓い祈願の受付 (祈願料は1月の厄祓いと同一)

節分の日厄祓いも受付。午前8時から正午まで随時受付奉仕

します。又は午後3時10分まで社務所へおいで下さい。

写真/加藤幸男氏

士別神社ホームページアドレス <http://shibetsu-jinjya.jp/>